

## 平成 15 年度内分泌攪乱化学物質に関する室内空気調査結果について

### 1. 調査の内容

調査対象物質は、ビスフェノール A、ペンタクロロフェノール、ノニルフェノール、オクチルフェノール及びテトラプロモビスフェノール A の 5 物質である。採取場所は、地域及び築年数を考慮して、全国 4 地域から一戸建て住宅 24 地点、集合住宅 24 地点、オフィス 12 地点、自動車 8 地点の室内及び屋外空気とし、地上 1.0～1.5m の高さで、環境中の大気を毎分 7 リットル程度の流量で 24 時間吸引捕集した。また、クロスチェック用試料のため、同一地点において 2 試料を採取した。

試料採取においては、ディスクタイプの捕集材に内標準物質及びアスコルビン酸を吸着させて捕集し、試料の分析には LC/MS 法を用いた。

### 2. 測定方法

内標準物質及びアスコルビン酸を含浸させたガラス繊維ろ紙とエムポアディスクを装着したフィルターホルダに室内空気を 7L/min の流速で 24 時間捕集した。捕集したろ紙及びエムポアディスクを固相抽出用フィルターアダプタに装着し、精製水で洗浄後、メタノールで目的物質を溶出させた。この溶液を濃縮乾固し、メタノール 1.0mL で再溶解させた後、LC/MS で分析した。

### 3 分析結果

平成 16 年 7 月 27 日現在解析中。